

## 鮮やかな複色系スプレーカーネーション新品種「さんご」

### [要約]

「ひたち1号」は、地色が浅黄橙色で、明赤色の条斑と覆輪が入る鮮やかな花色の複色系スプレーカーネーションであり、切花長、花の質、花数、ボリューム感が生産者、市場関係者から好評である。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成果  
区分

普及

### 1. 背景・ねらい

カーネーションは、全国でもキクに次いで切り花出荷量が多く、本県花き生産においても主要品目となっている。また、本県ではカーネーション生産者が自ら育種を行う「生産者育種」が盛んで、様々な品種が育成されている。現場からは、これを元とした花色の異なるカーネーションの育種が求められている。そこで、突然変異育種を用いて県オリジナル品種を育成する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成17年に生産者育成スプレーカーネーション「あられ」の側枝1本が自然突然変異により花色変異した個体を選抜、育成した品種である(図1)。
- 2) 花色は地色が浅黄橙色(RHSカラーチャートの27Aに相当)で、条斑と覆輪が明赤色(RHSカラーチャートのN57Aに相当)となり、元品種「あられ」より濃くなっている(図1、表1)。
- 3) 開花始めは「あられ」より2週間ほど早い中生である(表1)。
- 4) 切り花長は「あられ」よりやや短く小型化の傾向があるが、対照品種「ルノアール」と同程度である(表1)。
- 5) 節数、茎径、花径、花弁数などの形質は、「あられ」とほぼ同じである(表1)。
- 6) 収量性は元品種「あられ」と同程度である(表1)。
- 7) 市場評価は、花色などの切り花形質が概ね良好であるものの、花色が鮮やかで用途が限られることもあり、商品性は良～劣に分かれる(表2)。
- 8) 現地試験による生産者評価は、切花長、花の質、花数、ボリューム感が好評であり、その他の形質も概ね良好で、総合評価も良いことから、生産者3名とも導入希望である(表3)。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「さんご」は平成25年1月に品種登録された。
- 2) カーネーションの特性として、花色が先祖返りを起こす場合、他の色へ変異する場合がある。
- 3) 種苗は常陸野カーネーション組合を通して県内生産農家に配布する。

#### 4. 具体的データ

表1 カーネーション「さんご」の特性(平成20年、笠間市安居)

品種・系統	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	分枝数	茎径 (mm)	花径 (cm)	花弁数 (枚)	花弁の地色 <sup>1)</sup>	花弁の複色 <sup>1)</sup>	開花始め	開花時期	採花本数
さんご	82.3	56.8	12.0	5.2	5.0	33.8	27A (浅黄橙)	N57A (明赤)	12/8	中生	6.5
あられ	86.7	62.0	12.9	5.4	5.3	31.3	2D (薄黄)	65A (ピンク)	12/22	晩生	6.2
ルノアール	80.8	56.0	10.0	5.1	5.4	30.2	18C (浅橙黄)	N66B (明紅)	11/10	早生	—

1) 花色はRHSカラーチャートによる。採花本数のみH19年のデータ。—:データなし  
注) 調査36株、パイプハウスに定植6/24、一次摘心7/11~28、二次摘心9/1~17。



図1 カーネーション「さんご」の開花形態

表2 カーネーション「さんご」の市場評価(平成19年、回答者19人)

評価基準	花色	花の質	茎葉の色	ボリューム感	商品性
良い	8	6	3	1	4
やや良い	0	3	1	0	0
普通	7	8	4	6	6
やや劣る	2	0	0	1	3
劣る	2	1	0	1	4
未回答	0	1	11	10	2

表3 カーネーション「さんご」の生産者評価(平成21年5月)

品種・系統	作りやすさ	開花時期		切花長	花色	花の質	花数	茎葉色	ボリューム感	病害虫の発生	収量性	総合評価	導入希望有:無
		一番花	二番花										
さんご	4.0	2.0	4.0	5.0	3.7	5.0	5.0	4.0	5.0	3.7	3.7	4.0	3:0

注) 生産者3名による評価。作りやすさ・開花時期・切花長・花色・花の質・花数・茎葉色・ボリューム感・病害虫発生・収量性・総合評価; 1:極劣, 2:劣, 3:普通, 4:良, 5:極良。病害虫の発生は極劣:極めて多い, 劣:多い, 普通:普通, 良:少ない, 極良:無しで判定した。

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 生産現場開発型育種によるイチゴ、カーネーションの新品種育成・平成16年度~19年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成18年度~21年度・生物工学研究所果樹花き育種研究室・園芸研究所花き研究室